

鳥羽市営定期船「第27鳥羽丸」について

はじめに

「第27鳥羽丸」は、伊勢湾口、志摩半島の東端に浮かぶ、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台で有名になった。神島をはじめ、答志島、香島、坂手島などの島嶼間と鳥羽をむすぶ定期航路に就航する鳥羽市営定期船として、平成9年3月10日、伊勢市のニュージャパン・マリン株式会社において建造され引き渡された。

一般計画

本定期航路は、在来船7隻（予備船1隻を含む）で運行しており各船の速力は10ノット～13ノット、定員は200人～300人で、船型は一軸船で、生活物資の輸送も必要なため全船とも貨客船型である。新造船は冷暖房を完備し、船型を二軸船にして快適性とスピード化が図られ、優美な外観を備えることとして計画された。

(1) 主要目等

全長	24.60m
垂線間長	22.90m
幅（型）	6.00m
深さ（型）	2.40m
計画満載喫水	1.24m
総トン数	74トン
航海速力	17ノット
航行区域	平水区域
最大搭載人員	254名

(2) 主機関等

ヤンマー6LAHK-ST1 × 2基
620PS × 1900rpm
発電用機関
ヤンマー4PHL-TN
50PS × 1800rpm
発電機
40kVA, AC225V, 3φ, 60Hz
DC24V, 35A

(3) 航海計器

レーダー	12インチ、デイトライト
GPS 航走装置	10インチ、カラー

概略形状

船体および上甲板構造物はFRP製で、船首は傾斜型、船尾はトランサム型として、2基のスクリュウプロペラ、ディーゼル機関を備えた角形単胴船である。

上甲板下は、4枚の横置水密隔壁により区画され、船尾に舵取機室、船尾部空所、中央部に機関室、空調機室及び空所、船首部に倉庫を設けている。

船体

本船は強化プラスチック船特殊基準及び高速艇としての構造を考慮して横肋骨構造方式を採用し、軽量で十分強固な構造とし、防振に充分留意した設計となっている。

舵及びシャフト・ブラケット

単板吊り下げ舵2枚で、推進軸に対するシャフト・ブラケット形状は2本足のY型とし、ボス下端にはプロペラガードを取り付けている。

客室

上甲板上中央部に乗降口を兼ねた立席客室を、前部及び後部に椅子席客室を、遊歩甲板上に立席を備えている。遊歩甲板上への人力による荷物の揚げ降ろしを考慮して、遊歩甲板の前後部に舷門を設け、甲板高さも低くしている。

防熱・防音工事

操舵室、客室の暴露部直下、側壁及び機関室の天井及び周囲壁に防熱及び防音工事を施行している。

おわりに

本船の基本設計および建造監理を進めるにあたり、常に積極的なご支援とご高配を賜った関係者各位に対し厚くお礼申し上げます。また、建造に当たってはニュージャパン・マリン株式会社をはじめ、関連メーカー各位が高度な技術と誠意をもって努力されたことを付記します。

